

困った人にやさしい県政を

私は、市議会議員として6期24年間、市内ホームレスの救済に奔走し、サラ金被害者の相談にも多数解決するなど市民の切実な願いに耳を傾けるとともに、みなさんとごいっしょに中学校給食や中学3年生までの子どもの医療費無料化などに粘り強く取り組み、実現することができました。しかし、中学校までの35人学級やコロナ検査などの保健所体制の強化など市政では実現できないことも多く、市政と県政の橋渡し役を務めながら、県政を変えなければならないと決意しています。

ご支援をよろしくお願いします。

6期24年

市議会議員として毎回の議会で提案

▶中学校給食、中3までの医療費無料化実現

保育所の増設を行い安心して働ける環境を
▶毎年4月1日では待機児童ゼロに

自転車道の設置で安全対策を
▶自転車道の設置が進んでいます

女性の地位向上のために
▶男女共同参画条例の制定を求める

子どもの貧困・虐待をなくすために
▶子ども権利条例の制定を求める

日本共産党 県政対策委員長・市議会議員

ひさ村真知子

県政担当

【プロフィール】1951年9月伊丹市西野生まれ／桜台小学校、西中学校、市立伊丹高校、阪神美容学校通信科卒。雪印乳業関西チーズ工業、レイラ(ふじ)化粧品勤務。新日本婦人の会伊丹支部事務局長・宝塚医療生協伊丹支部長など歴任。1999年から現在まで6期24年間市議会議員。文教福祉常任委員会副委員長、農業委員会委員など歴任。現在、文教福祉常任委員、飛行場問題特別委員、クリーンランド議会議員、原水爆禁止伊丹協議会副理事長。西野在住。2男。

憲法守る。くらしに生かす。

「年金は減る一方。物価高騰。医療費は倍増。毎日の暮らしが心配」どこへ行っても市民の不安の声が聞こえます。長引くコロナ禍に加え諸物価が高騰。岸田自公政権の無為無策が市民の暮らしを直撃しています。更に5年間で43兆円の大軍拡推進で増税と社会保障の大削減です。

国民だれもが普通の暮らしができることを憲法25条は保障していますが、政治はその実現を拒み続け、軍拡でさらに重い負担の押し付けをねらっています。憲法を無視する「戦争する国づくり」を許しません。

私は憲法を守り平和な社会をめざし、だれもが安心して暮らせる伊丹にするため全力を尽くします。

2015年～2019年

市議会議員として論戦・提案

- 稲野町の「市立こぼと保育所」の存続と公立保育所の定員を85人分増員
- 高台のミノルタ工場撤退に伴う放射性物質飛散問題を取り上げ、市に対応を求める
- 瑞ヶ池遊歩道(県道)へ転落防止柵の設置
- 中途失聴者への支援(磁器ループの設置・要約筆記の拡充)を求める

日本共産党 前市議会議員

服部よしひろ

市政担当

【プロフィール】1951年9月、滋賀県大津市生まれ／瀬田工業高校機械科卒。三菱電機に勤務、サービス残業是正を実現。2013年伊丹市長選挙に立候補、2015年から2019年まで伊丹市議会議員、文教福祉常任委員などを歴任。現在、日本共産党伊丹市議会議員団事務局、大手前大学跡地マンション建設問題を考える有志の会事務局長、くらしとまちに元気を伊丹市民の会事務局次長。稲野町在住。(家族)妻、1女1男。



LINE公式

Facebook



力を合わせ、市民の願い実現にがんばります



市民の暮らし、検査・医療の充実

- 保健師、医師など専門職の増員で、PCR検査体制の拡充を
- 必要な人が入院・医療が受けられる医療体制充実を
- 介護・福祉・保育などケア労働の賃金引き上げ
- 事業者に対して家賃支援や固定資産税減免を



子育て支援・教育の充実

- 子どもの医療費は所得制限なしで18歳まで無料に
- 学校給食は無償に
- 小中学校でただちに35人学級実現を
- 年度途中の待機児童の解消、保育料の軽減を



介護・健康・福祉施策の充実

- 国保税・介護保険料の軽減を
- 補聴器購入に補助制度を
- 障がい者への医療助成制度の拡充を



災害・気候変動、人権施策の充実

- 伊丹市としてカーボンゼロ宣言を行い、目標達成に向けた具体的な施策を
- 避難所となる学校体育館等に空調施設の設置を
- 夫婦別姓制の促進



日本共産党

服部よしひろさんはこんな人



2013年4月に行われた伊丹市長選挙に立候補

子どもの医療費中学校卒業までの無料化、中学校給食実現を公約に掲げて奮闘。中学校給食実現は候補者全員が公約に掲げることとなり、実現しました。



市立伊丹病院と近畿中央病院の統合再編に反対

2019年1月、伊丹市議会議員団の一員として、近畿中央病院の存続を求め、公立学校共済組合(東京)に要望書を提出、伊丹市の医療の現状と近畿中央病院への市民の期待の大きさを訴えました。



藤原市長に、高層マンション建設に伴う地域住民要求を事業者と調整するよう求める要望署名(千筆余)を提出



稲野町氏神奉賛会だんじり祭りには毎年参加

服部よしひろさんを今度も議会に



稲野自治会役員OB
川本 良和

隣接住民の住環境を著しく損なうマンション建設計画に対して、事業者側に軸足を置いている市役所関連部署を相手に、住民の要望を伝えて、粘り強く折衝する姿は本物です。言葉と行動が乖離している人が多い中、決して及び腰にならず、問題を直視し、丁寧に対応していく服部さんは本当の地域問題ソリューション型リーダーです。

前市議会議員
服部よしひろ

「困った」をほっとかない!

市営住宅の建て替えとエレベーターの設置

やっと玉田団地にエレベーターが設置されます。引き続き公営住宅の修繕等住みよい住環境実現に向けてがんばります。



エレベーター設置工事中の玉田団地



西野に安全な通学路を

西野4丁目の関西電力変電所に沿った池尻小学校への通学路は、子どもたちにとって危険で雨水がたまる道路でした。その改善のため、関西電力に直接交渉し、その後伊丹市に対しても改善要望を行い、安全な道路を実現することができました。



住民の話を聞くひさ村議員

天神川・浚渫工事行われる

「天神川では大雨の時、川底に土砂がたまっており氾濫しないか心配だ」の声が寄せられ、県土木課と交渉。県は「要望のあったところから頑張ります」と言われ、さっそく調査の後工事も行われました。



JRの危険な踏み切りの改善

伊丹JR南踏み切り内は歩道と車道の分離のため大きく陥没する形となっており、高齢の男性が自転車で転倒し入院される事態がありました。車椅子や自転車が大きな事故につながる危険があります。早急に改善を求め、やっと改修することができました。



元市議会議員
大西 泰子

ひさ村真知子さんを今度も県会に

6期24年間、市民に寄り添いながら問題解決のために頑張ってきたひさ村さん。市議会では常に弱い人の立場に立って生活保護や女性問題等で市政を質し、持ち前の粘り強さで中学校給食や子どもの医療費無料化などを市民とともに実現してこられました。今回県会に挑戦されますが、ひさ村さんこそ経験、実績ともにふさわしい人です。



県政対策委員長・市議会議員
ひさ村真知子